

民家の再生

信州大学工学部建築学科

建築設計製図Ⅱ・工芸デザイン製図Ⅱ 課題

対象建物：旧越家住宅



課題内容（建築コース）

須坂の民家を再生せよ

- ・ 2世帯以上の家族（合計10人以上）が住まうことのできる集合住宅を提案する。
人が集住することによって生まれる魅力的な暮らしを設定すること。
- ・ まちのニーズに対応した用途（店舗や公共施設など）を提案する。
まちの現状や歴史、文化を分析し、敷地にふさわしい用途を設定すること。
- ・ 「再生」：古いものと新しいものの建築的な関係を提案する。
なるべく既存を活かし、大規模な増築はしないこと。
ただし、古いものにこだわりすぎないこと。

課題内容（工芸コース）

前半：須坂の民家を再生せよ

- ・ 3世代同居の家族（合計5人以上）が住まうことのできる住宅を提案する。
人が集住することによって生まれる魅力的な暮らしを設定すること。

後半：再生した民家の解釈をふまえたインテリアの提案

- ・ 「民家の再生」課題で踏まえた内容および成果物をベースとし逸脱しない
再生した建物の価値を吹き出す、もしくは最適化するためのインテリアを設計・提案する

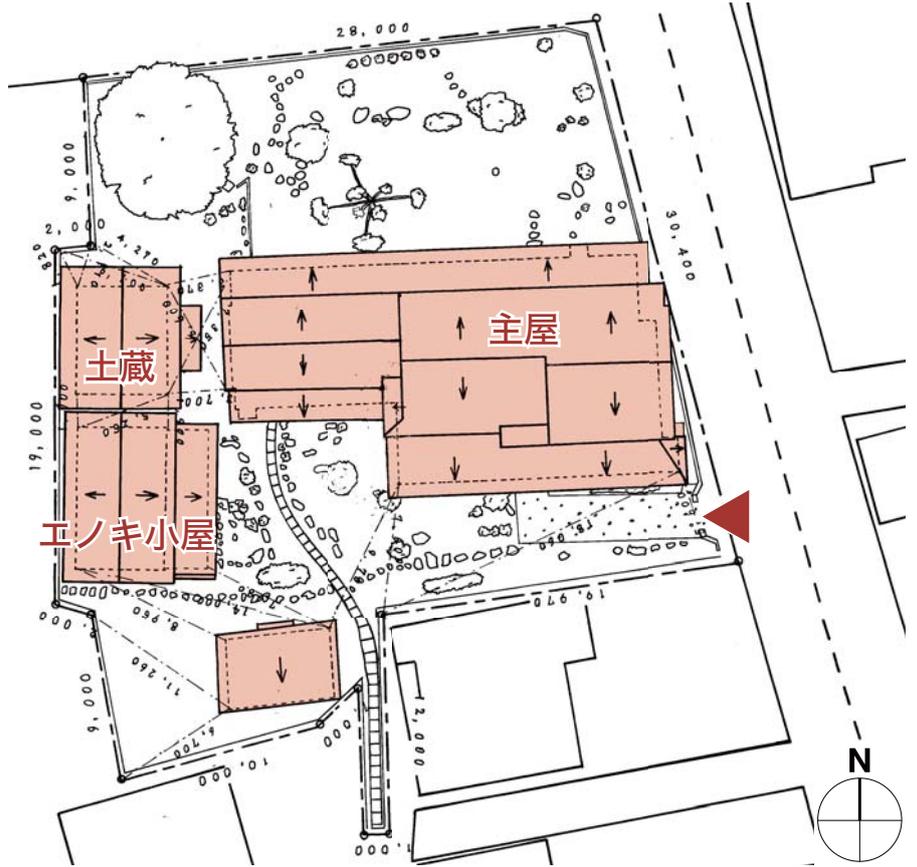
現状調査



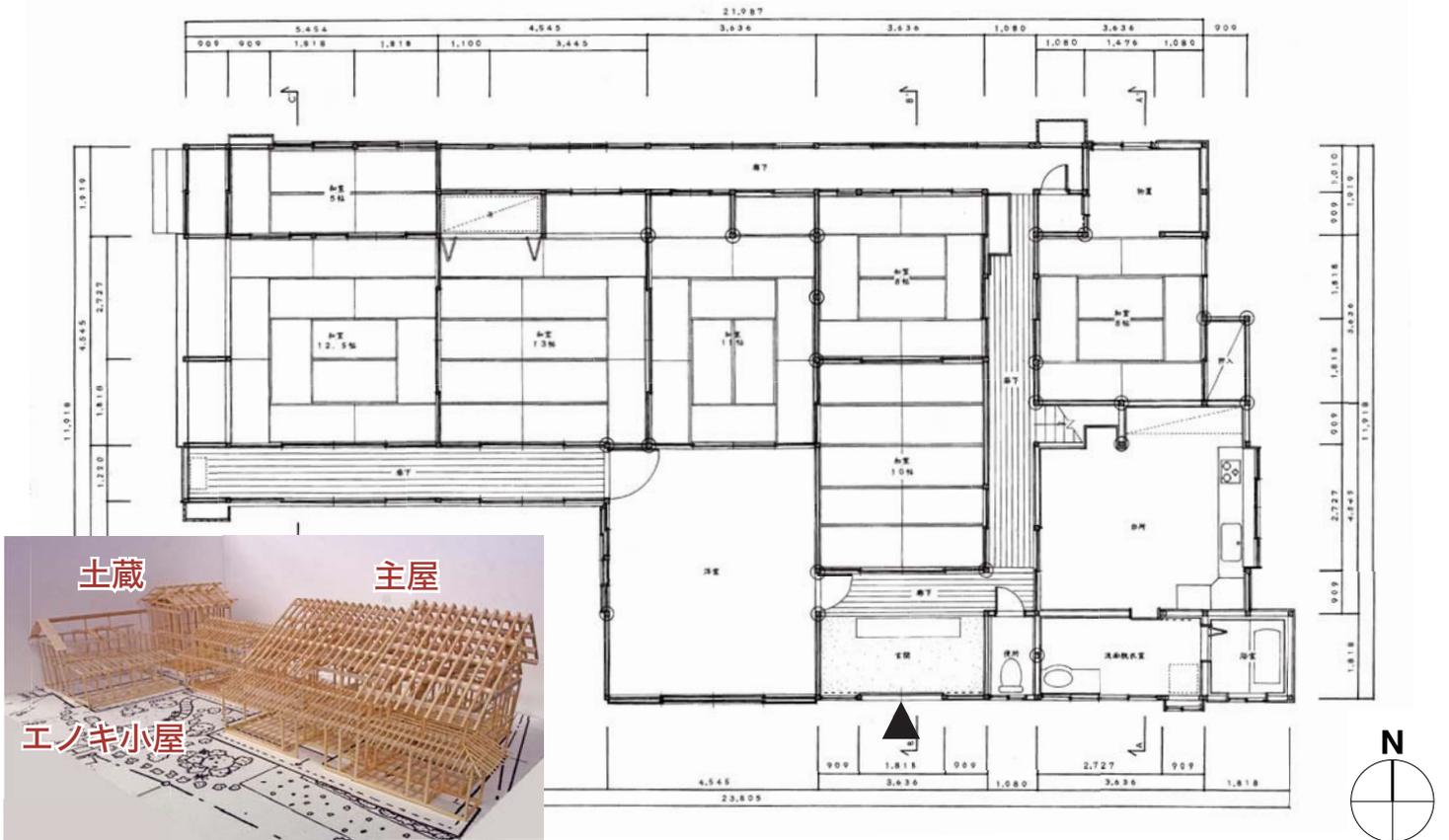
聞き取りの様子



須坂市内のまちあるき



実測図面：主屋 一階平面図・架構模型



「蔵に住まう」

須坂のまちのモチーフと言ったらなんでしょう？

やっぱり「蔵」を思い浮かべますよね？

今回提案する集合住宅のカタチは、くらのまち須坂で、

「蔵に住まう」ことを目的としたものです。

断熱性に優れる、防音効果が大い、湿度管理が上手、

適度な閉鎖間と、土のにおい、木の香り、、、、

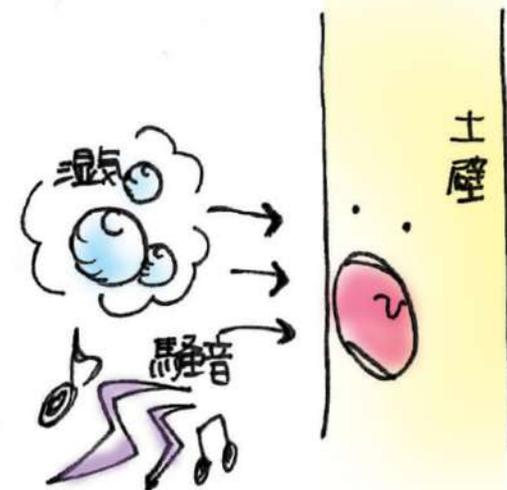
土蔵には優れた機能と魅力がたくさんあります。

本来、貯蔵を目的とした建築である土蔵に、

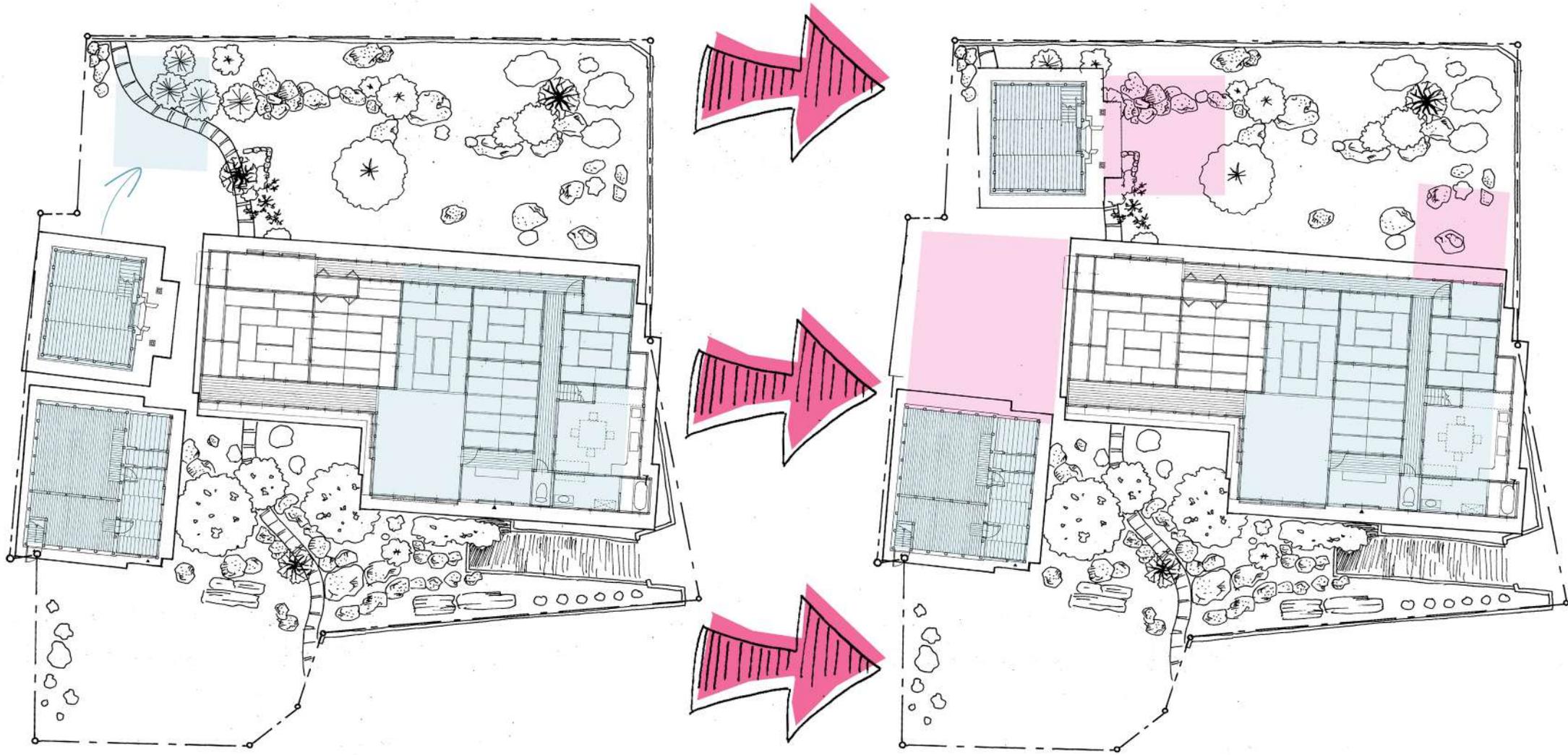
住まうこと（＝内部での憩い）を目的に設計をすることで、

須坂ならではの新しい生活のカタチが

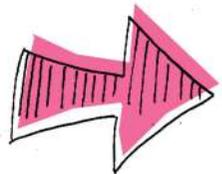
提案できるのではないかと考えました。



平面計画



- 北側土蔵は日当たりが悪く、居住に適していない
- どの土蔵も居住するには、面積が足りない

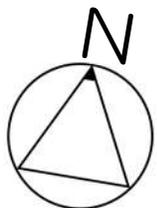
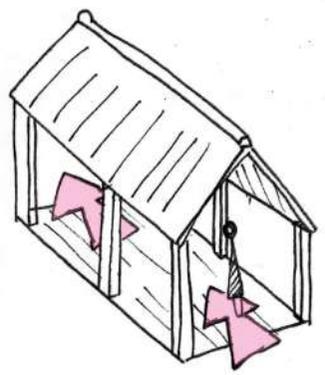


移築・増築で解決！新旧の統合

改築後

一階平面図

- 増築部...RC造
- 建物間は
簡単な通路
で繋ぐ



南側土蔵

(土蔵+コンクリート)

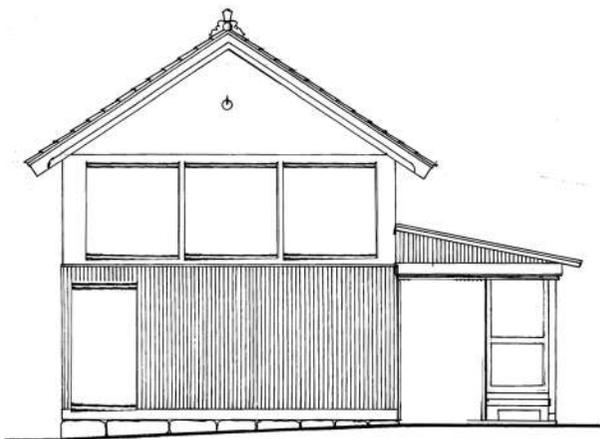
土蔵部分はくつろぐ場

コンクリート部分は

居住スペース

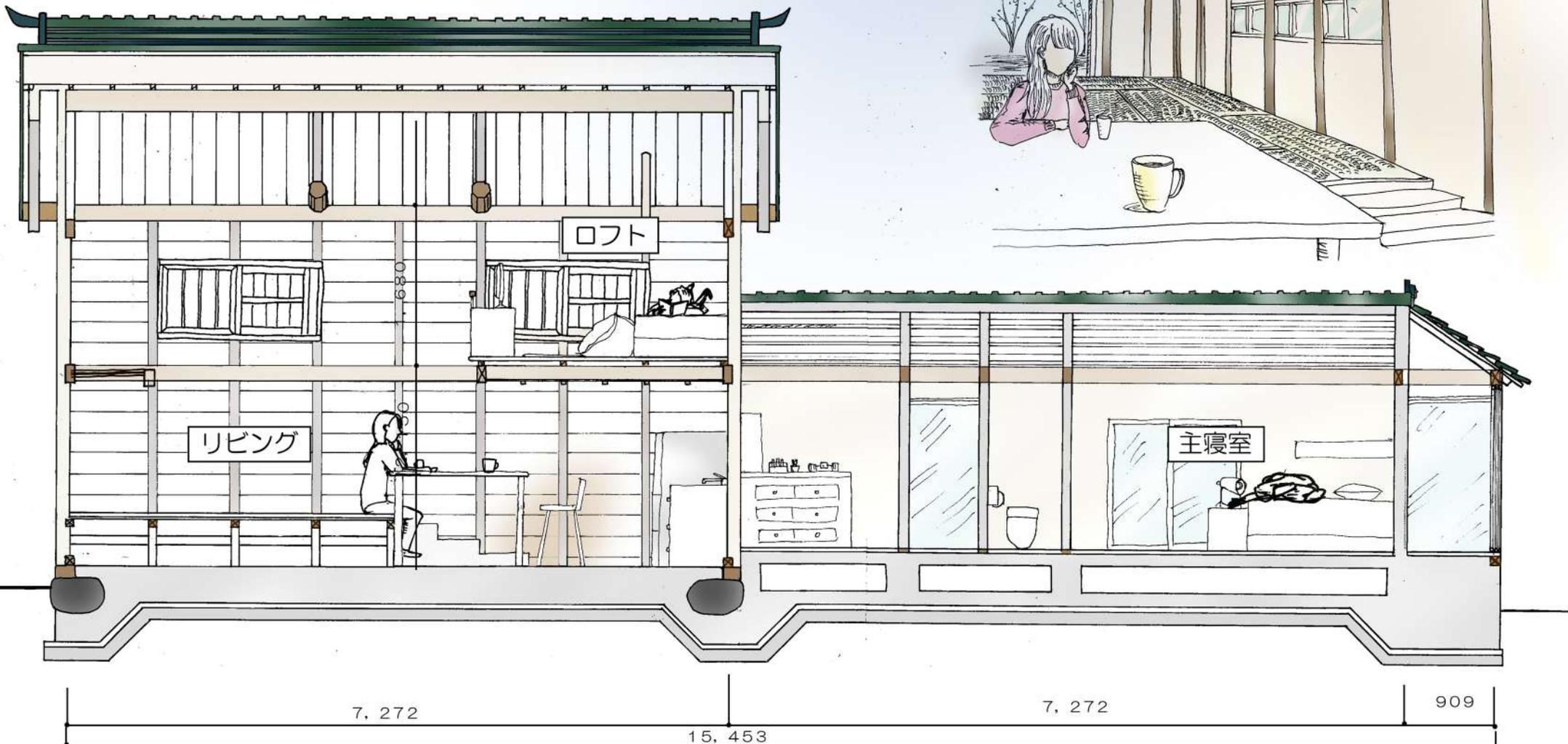
土蔵側部には

コンクリートテラス



南側土蔵断面図

- 土蔵はロフト式で、リビングは吹き抜け
畳を敷いてある。手前には簡易的なキッチン
- 増築部は居住スペースとする

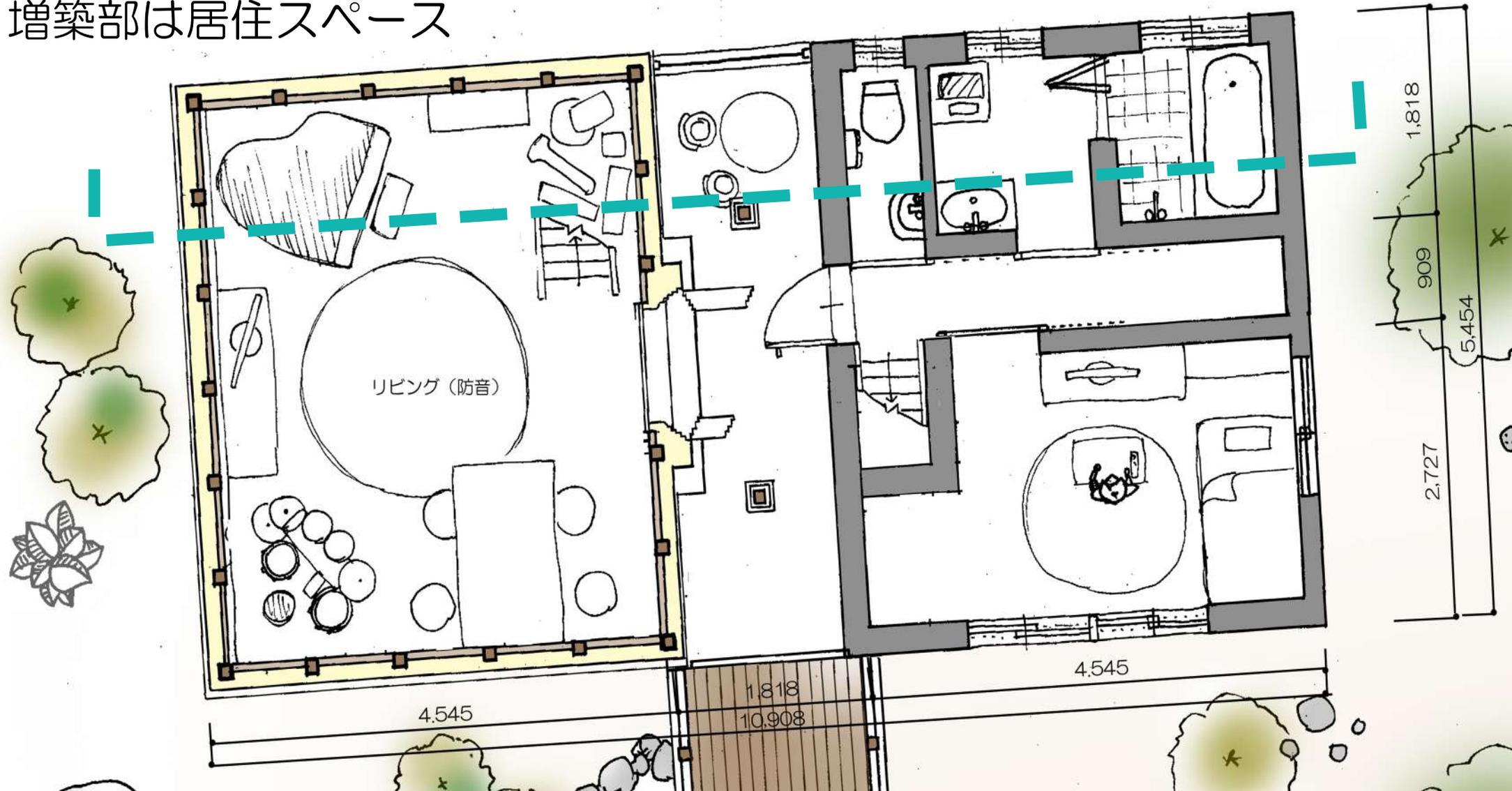


北側土蔵

(土蔵+コンクリート)

土蔵を音楽活動のできる防音リビングとする

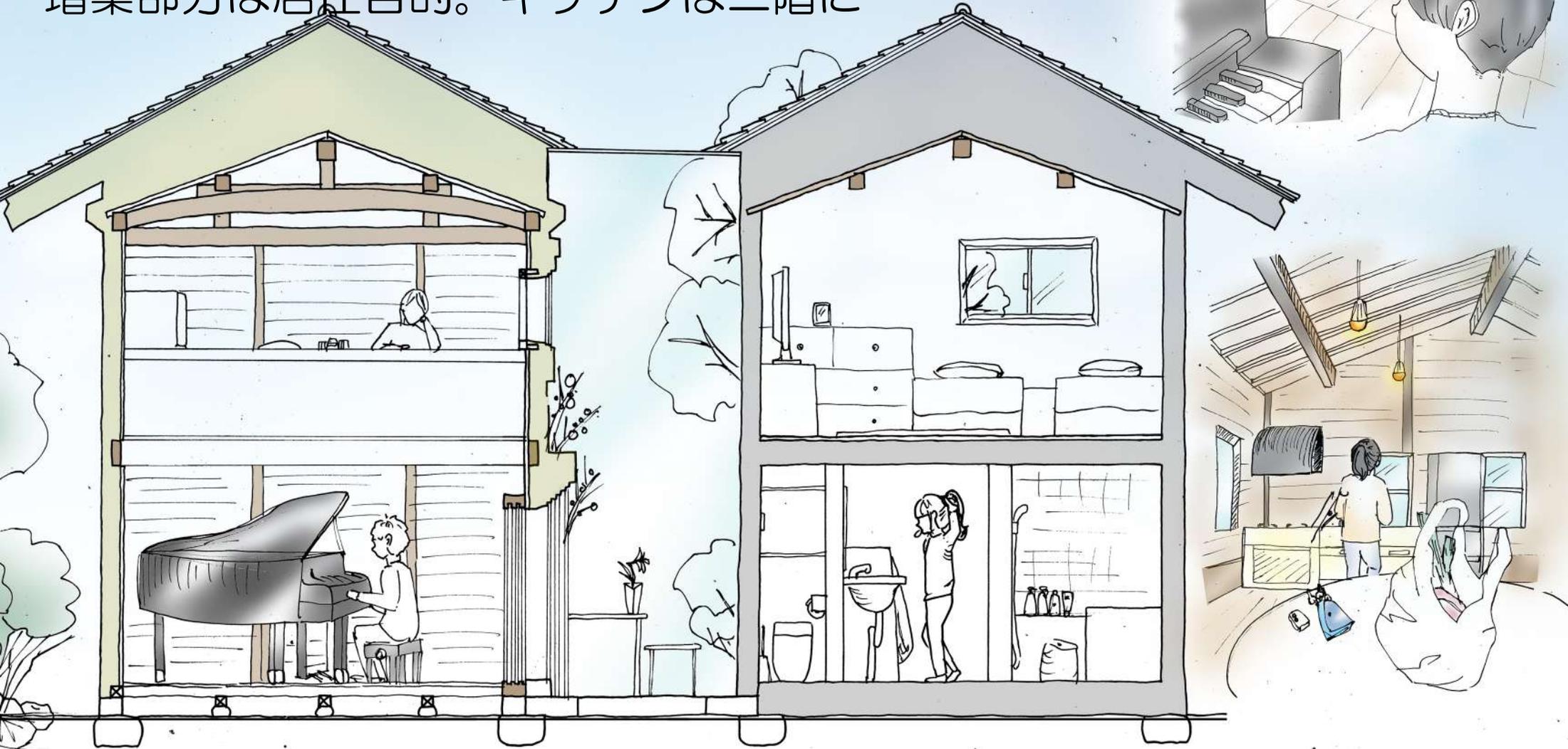
増築部は居住スペース



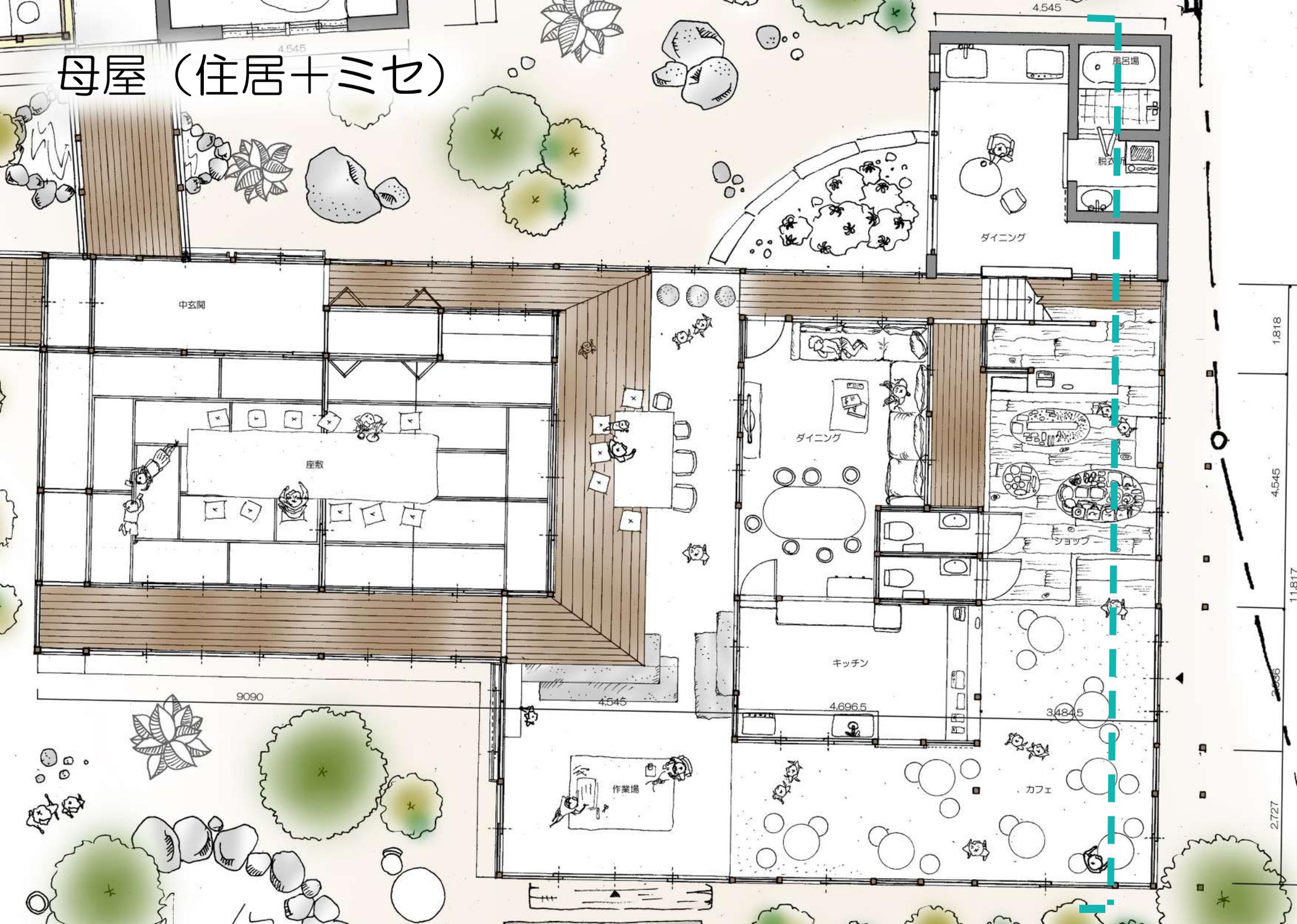
北側土蔵

(土蔵+コンクリート 間をガラスの通路)

土蔵は防音性能を活かして、音だし可能なリビングへ
増築部分は居住目的。キッチンは一階に

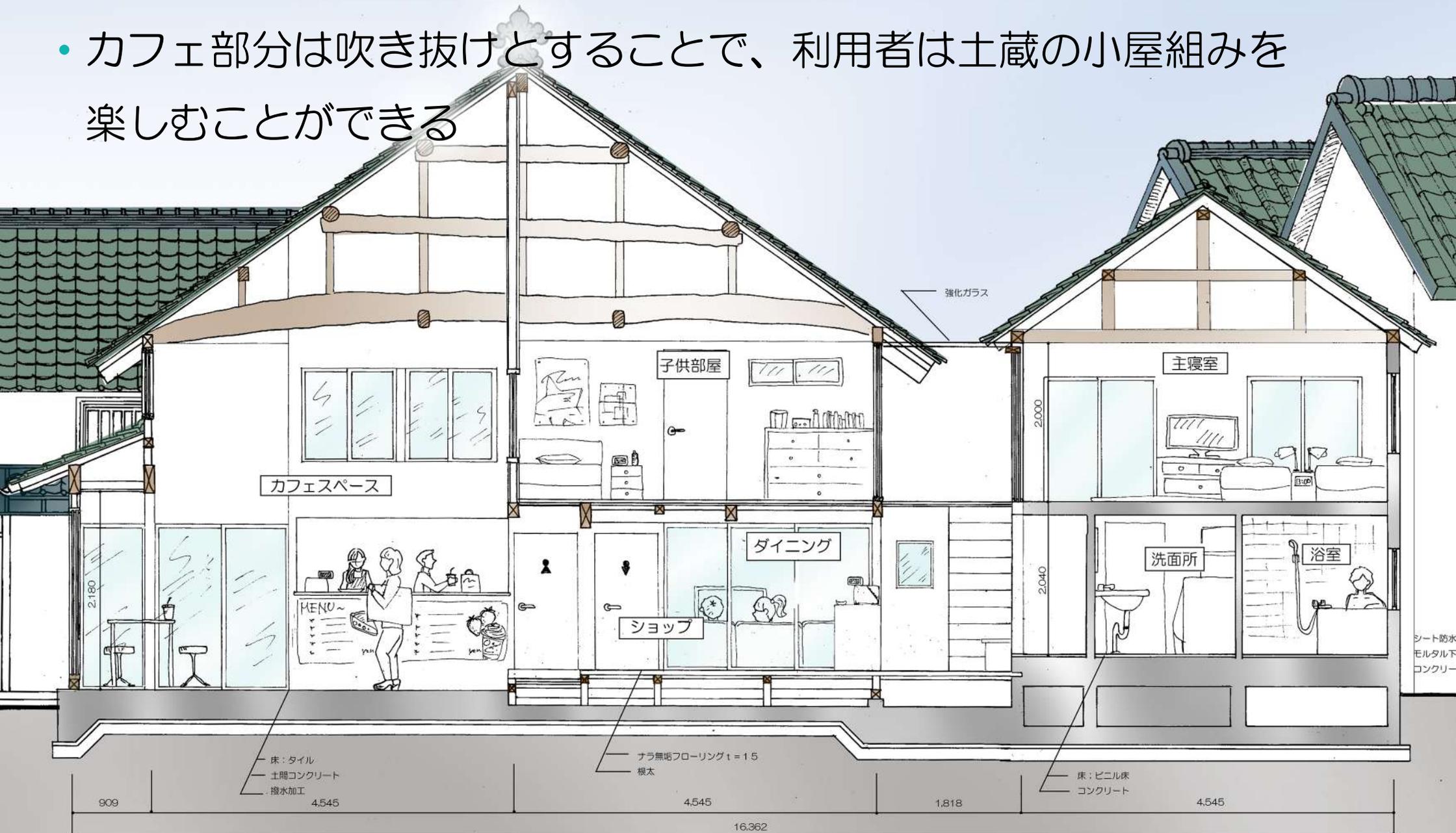


母屋 (住居十三セ)



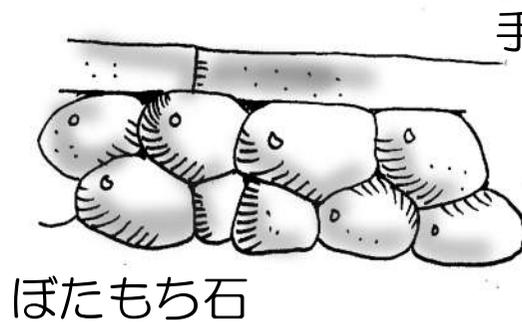
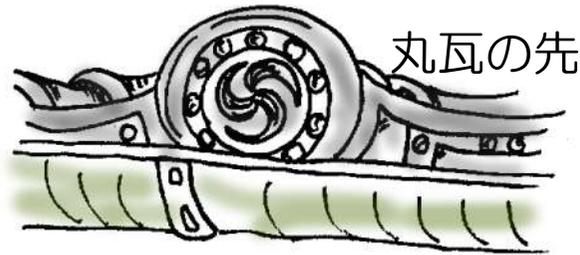
母屋断面図

- 二階部分、増築部分は住居とし、一階部分は店舗とする
- カフェ部分は吹き抜けとすることで、利用者は土蔵の小屋組みを楽しむことができる

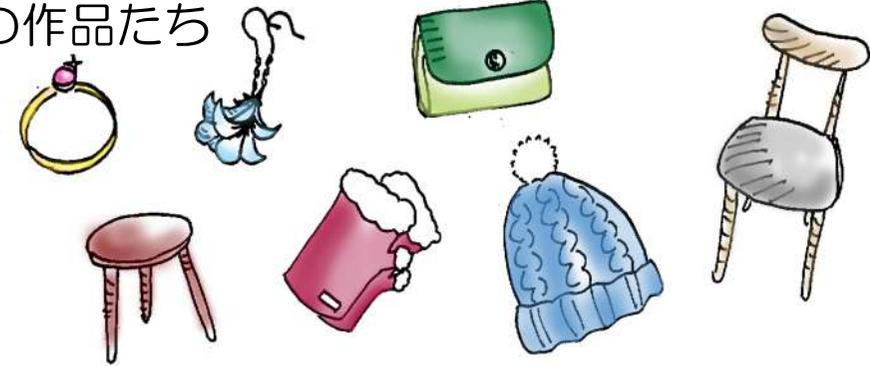


須坂の魅力

須坂のまちを歩いて感じたことは、**素材が近くで見える**ということでした。通りから見える、丸瓦の先の造形の細かさや、ひび割れた漆喰の壁、ぱんぱんに積まれたぼたもち石や、木目まで見える軒先の裏、、、
ついつい、立ち止まって見てしまうような、そんな**スローな雰囲気**の流れるまちだと感じました。



手造りの作品たち



製糸業という**手仕事**で栄えた須坂にはそんな、素材を大事にするような雰囲気が流れていて、なにか始めるなら手仕事がいいのでは？と思い、今回の設計においては、**ハンドメイド**という付加機能を与えました。住まう人が思い思いに制作をして、こだわりの強いお客さんが自然とあつまって、売ったり買ったり、つくったり、教えたりして回っていく、そんな人々の営みが生まれることが理想です。

蔵キッチン



通り土間でお茶



Shop内観

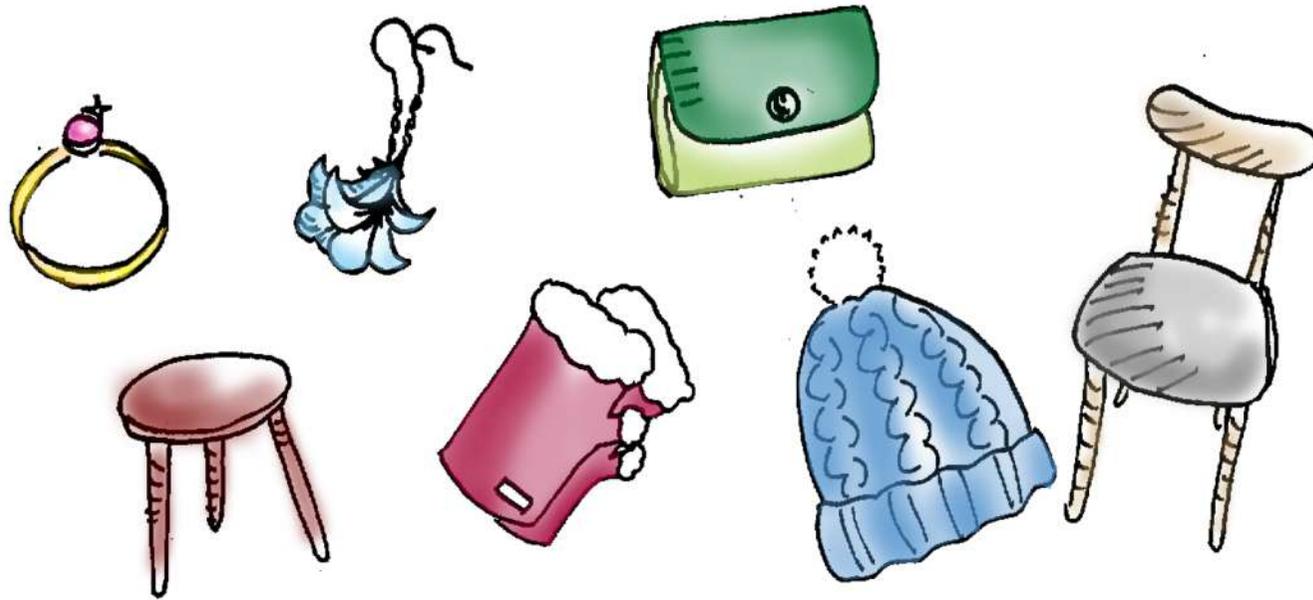


土蔵でセッション

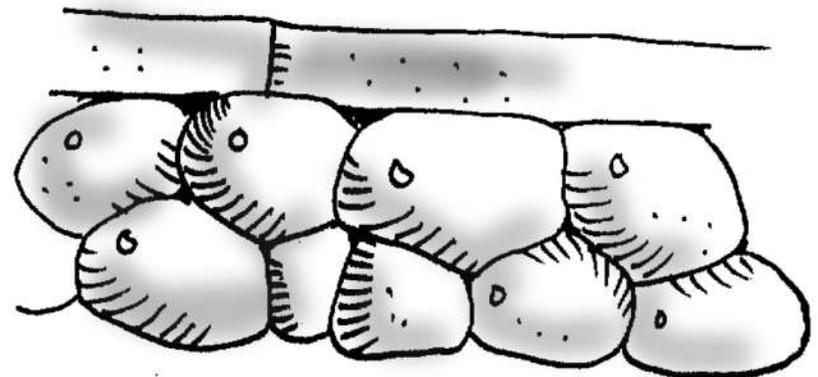
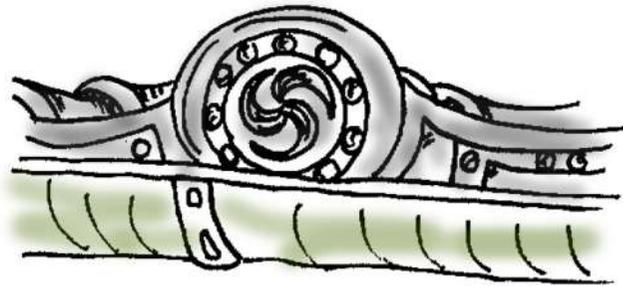
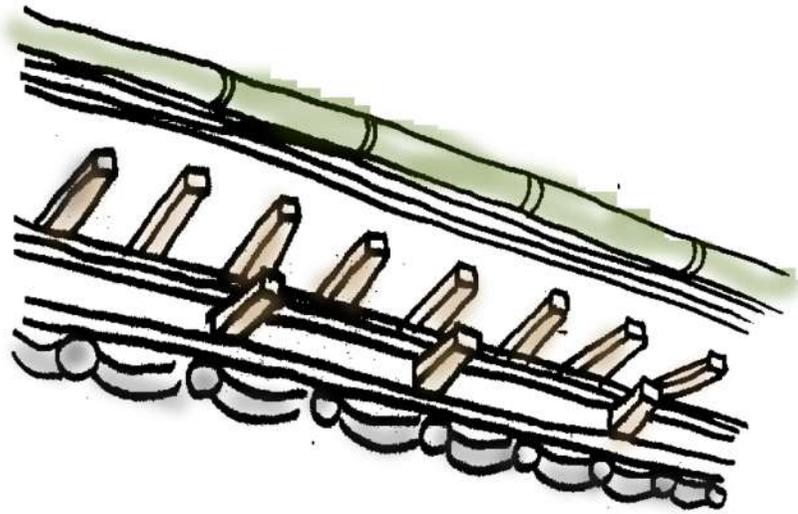


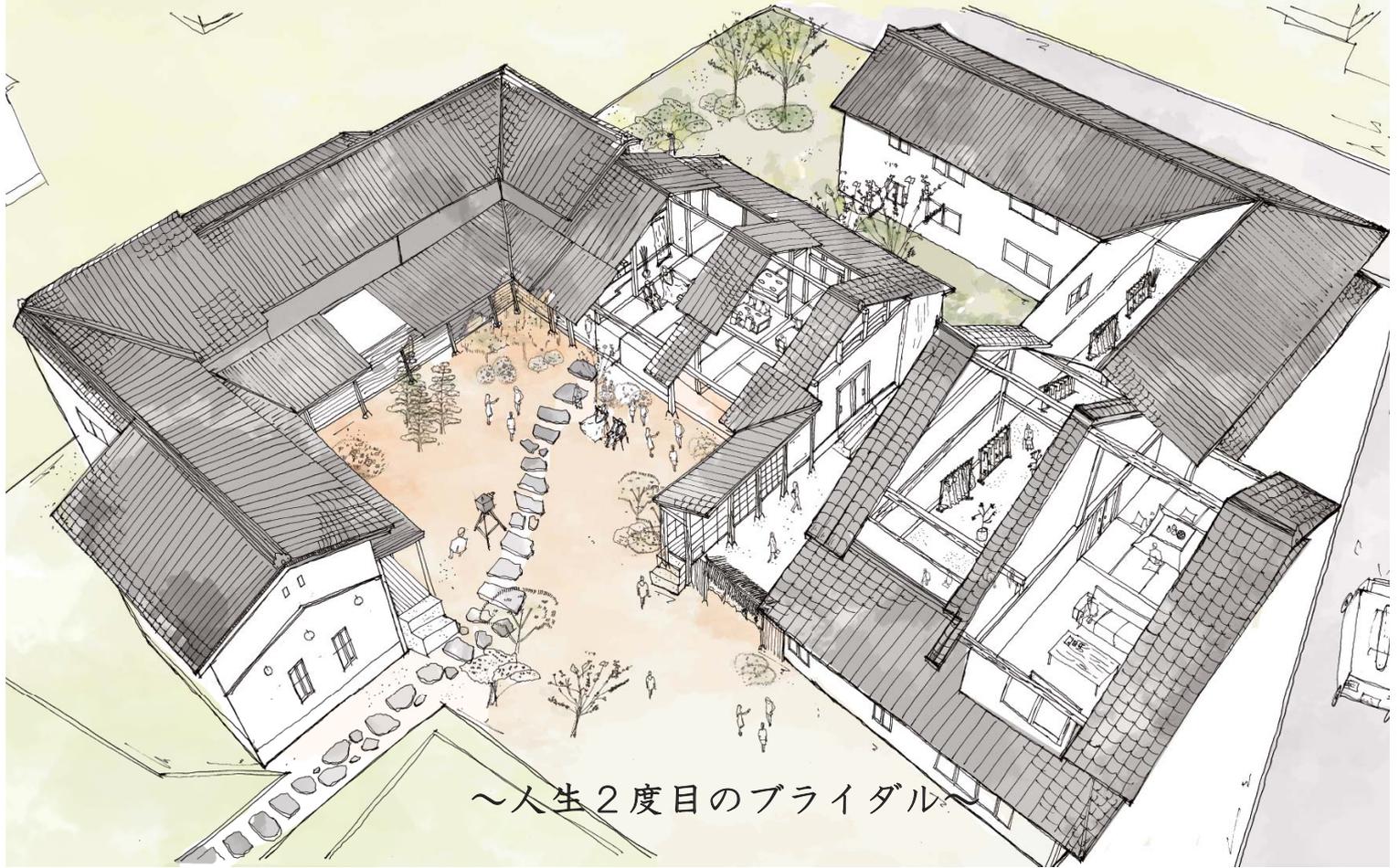
蔵リビング





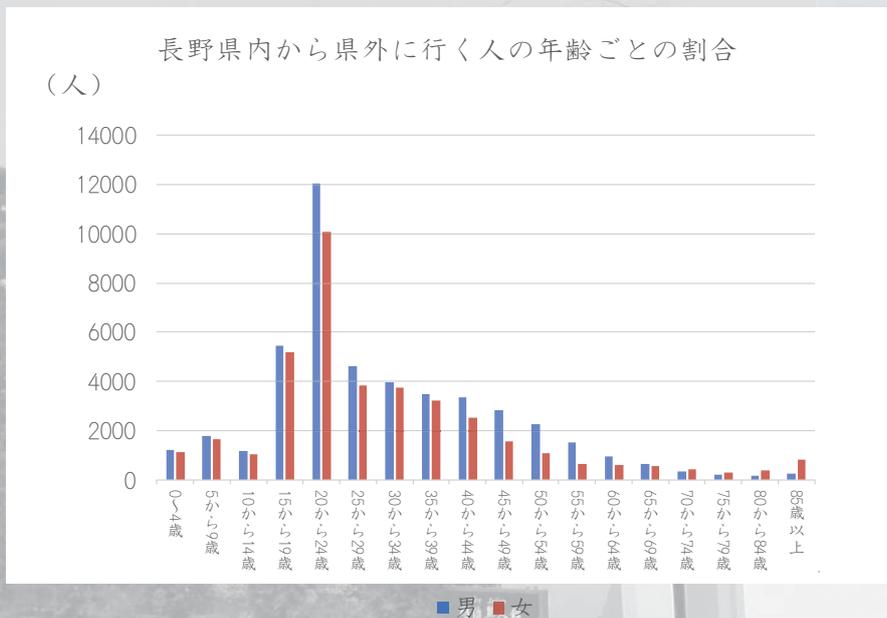
ご清聴ありがとうございました。





須坂市の現状

敷地：旧越家住宅（長野県須坂市須坂）



データから20代の割合が群を抜いて高い。

何を忘れかけている若者

その漠然とした何かを思い出すための媒体

人生二度目のブライダルを提案する。

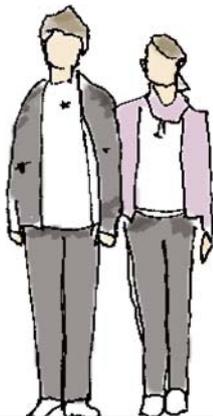
❖ 世帯構成



着物が好きな老夫婦



花が好きな夫婦

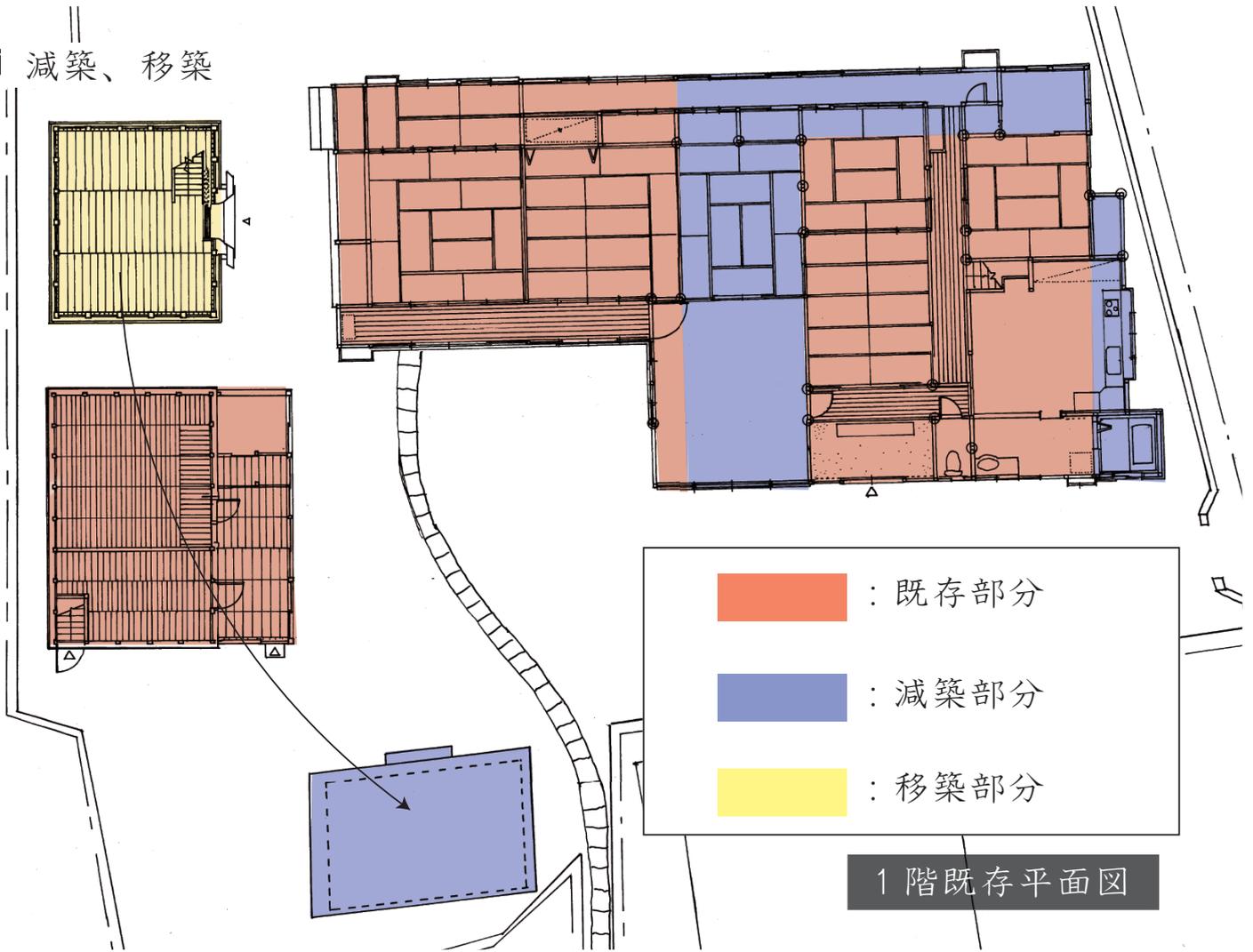


料理が好きな夫婦

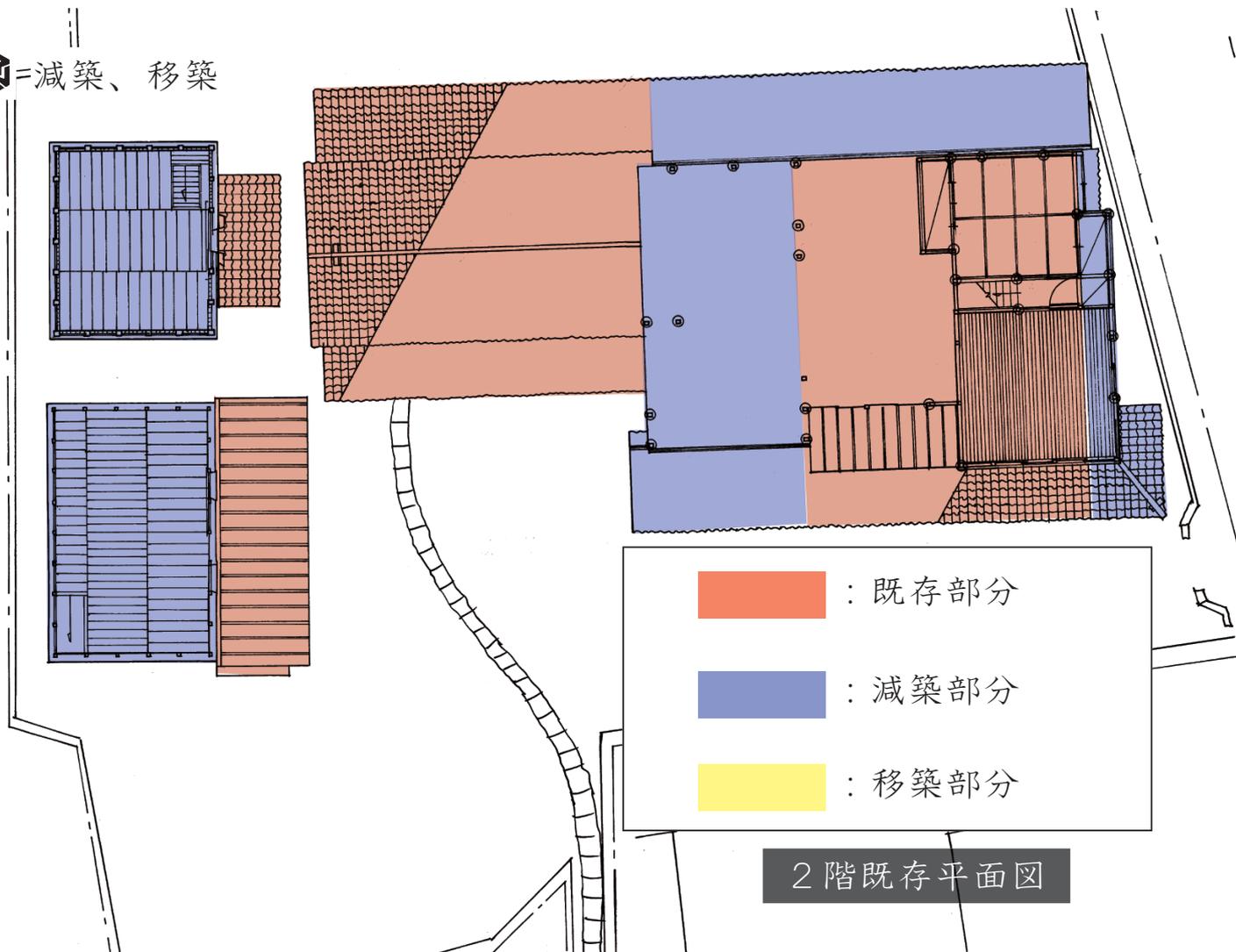


2世帯5人家族

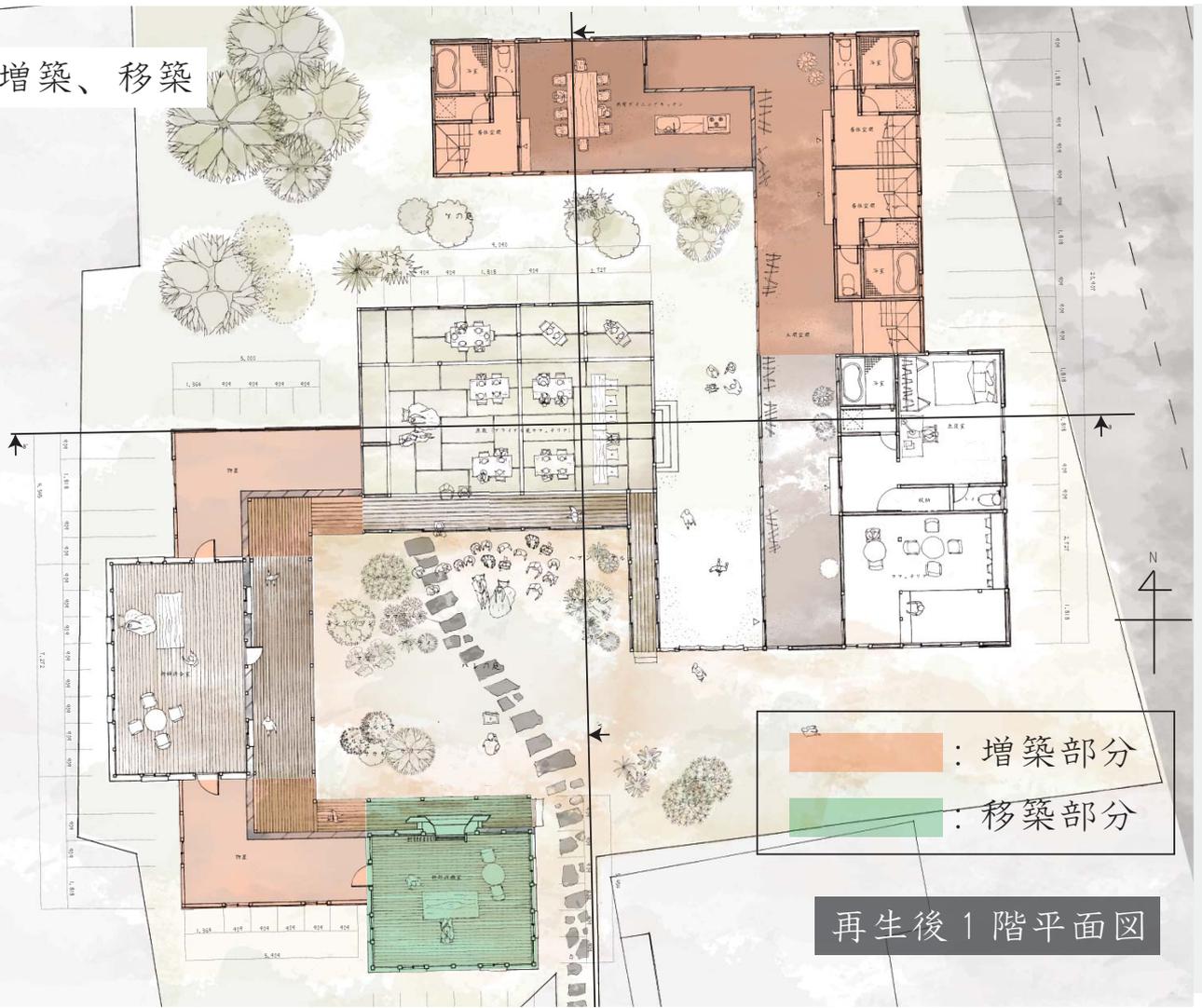
減築、移築



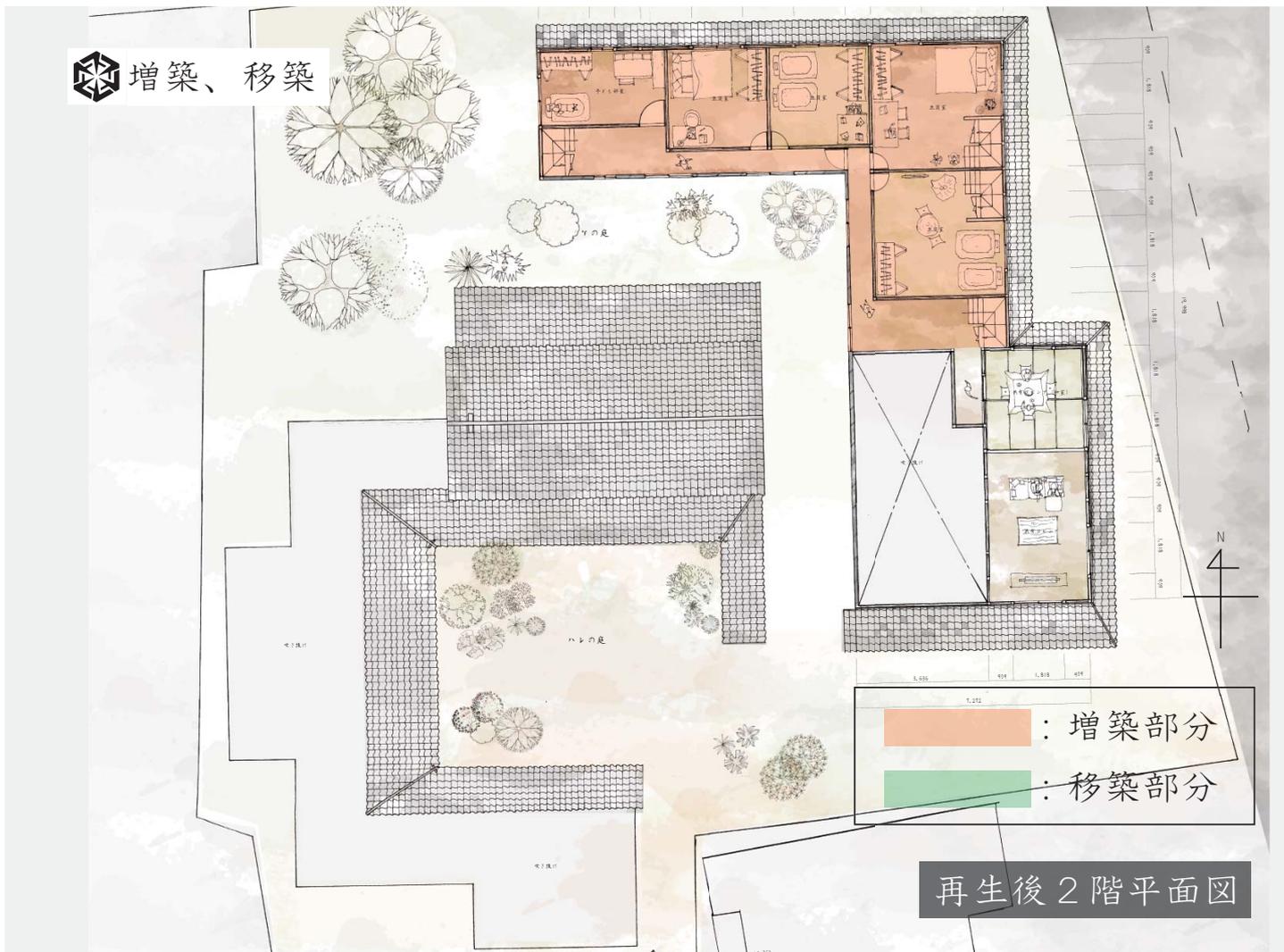
減築、移築



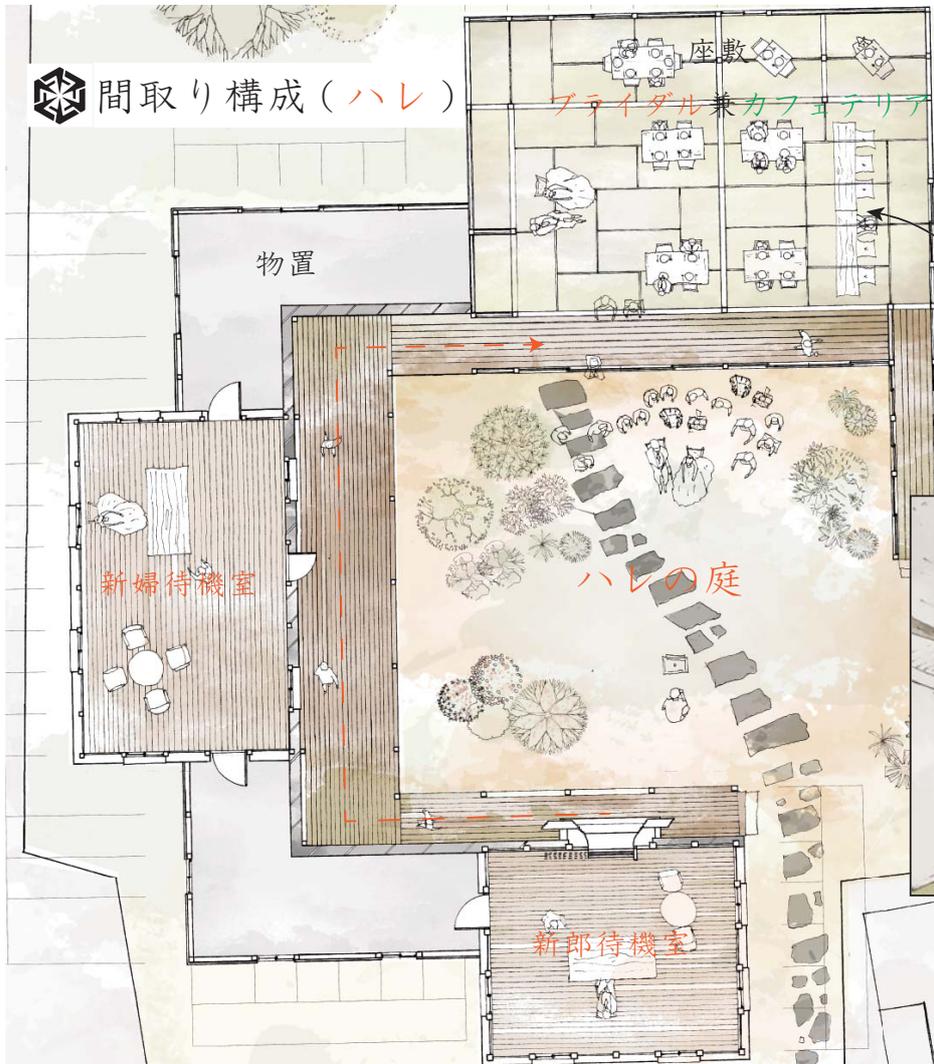
増築、移築



増築、移築



間取り構成 (ハレ)

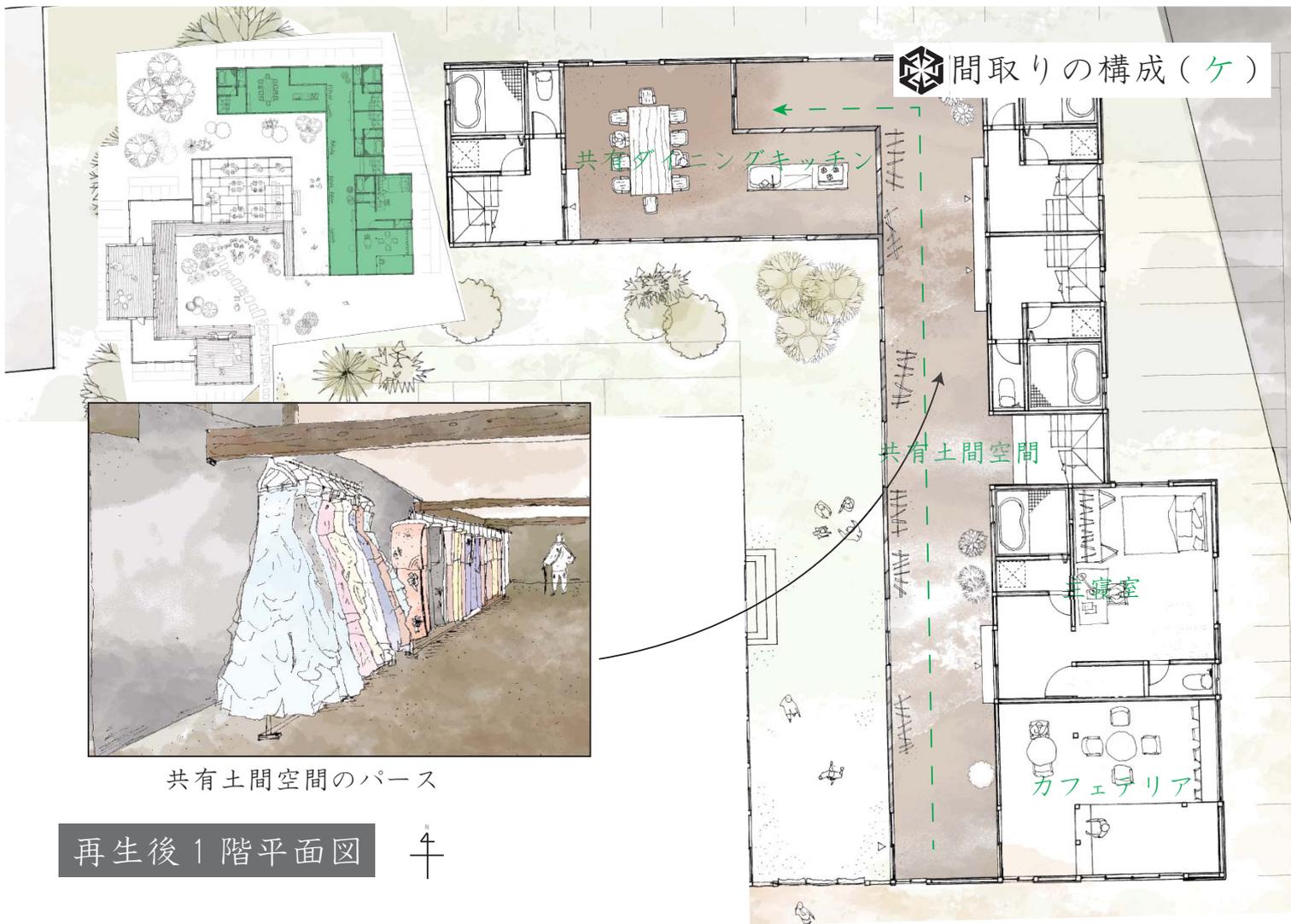


座敷 (ブライダル時) のパース

再生後 1 階平面図



間取りの構成 (ケ)



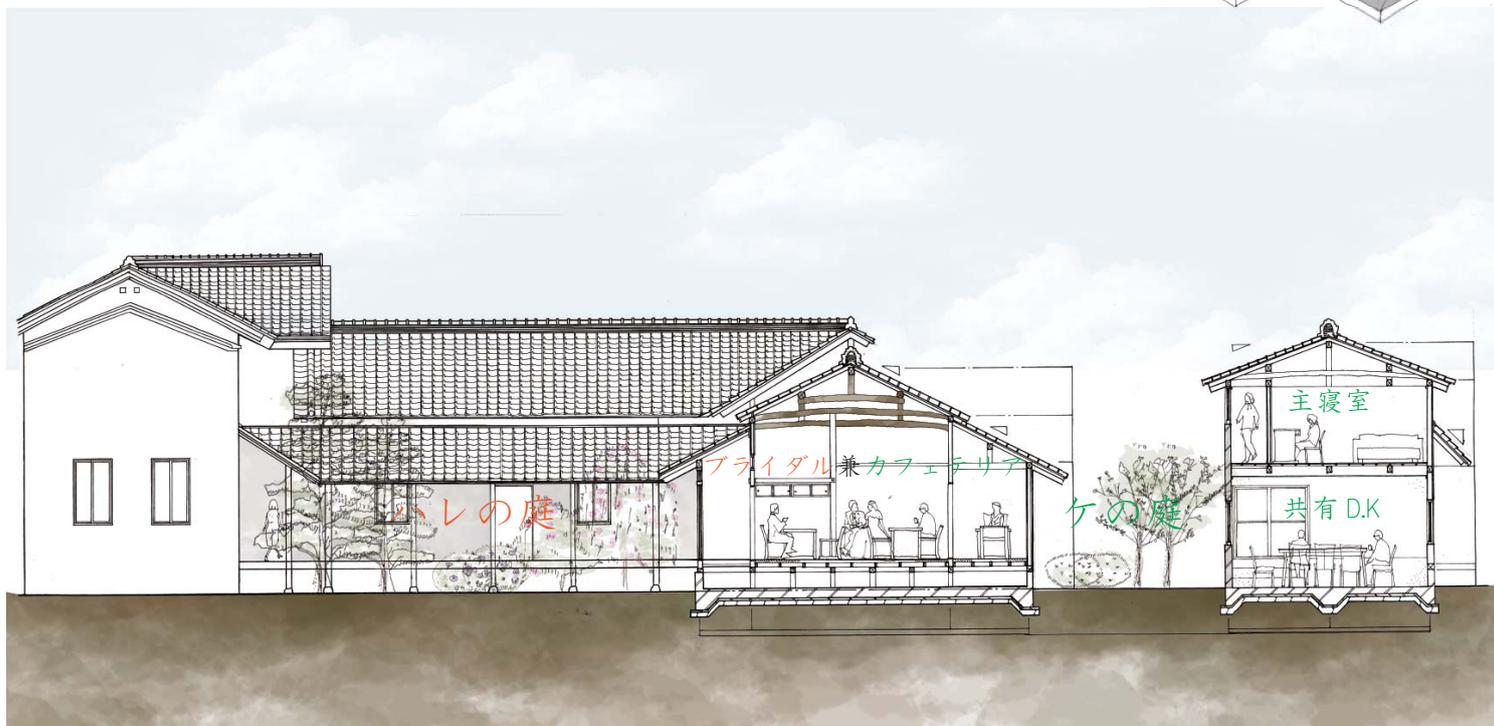
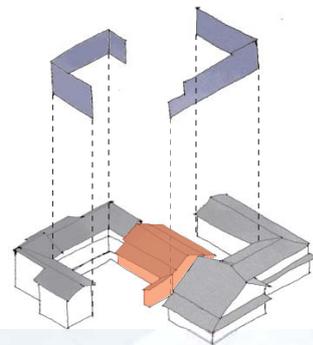
共有土間空間のパース

再生後 1 階平面図

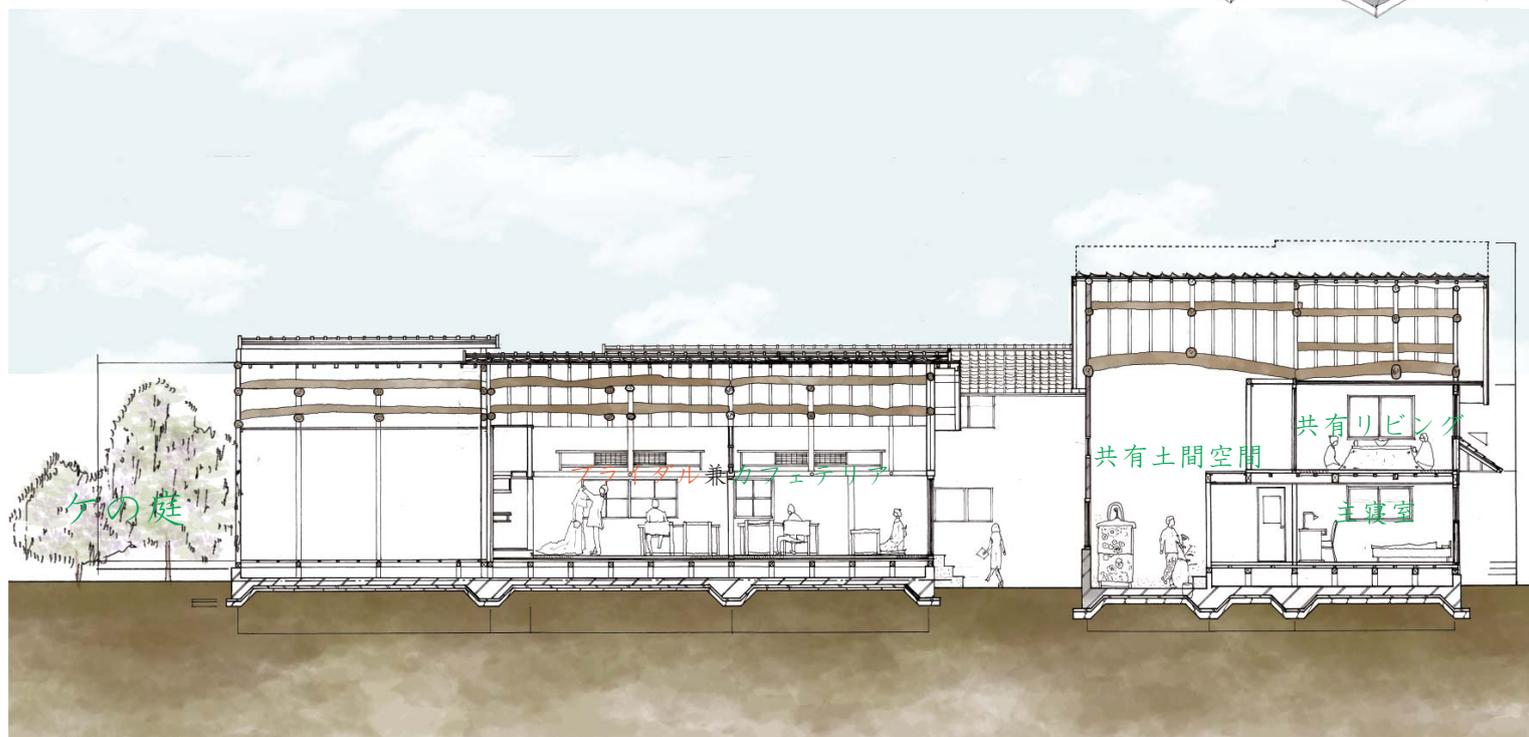
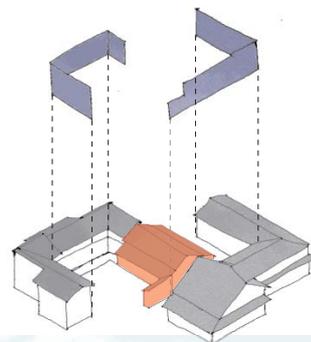




短手断面図



長手断面図

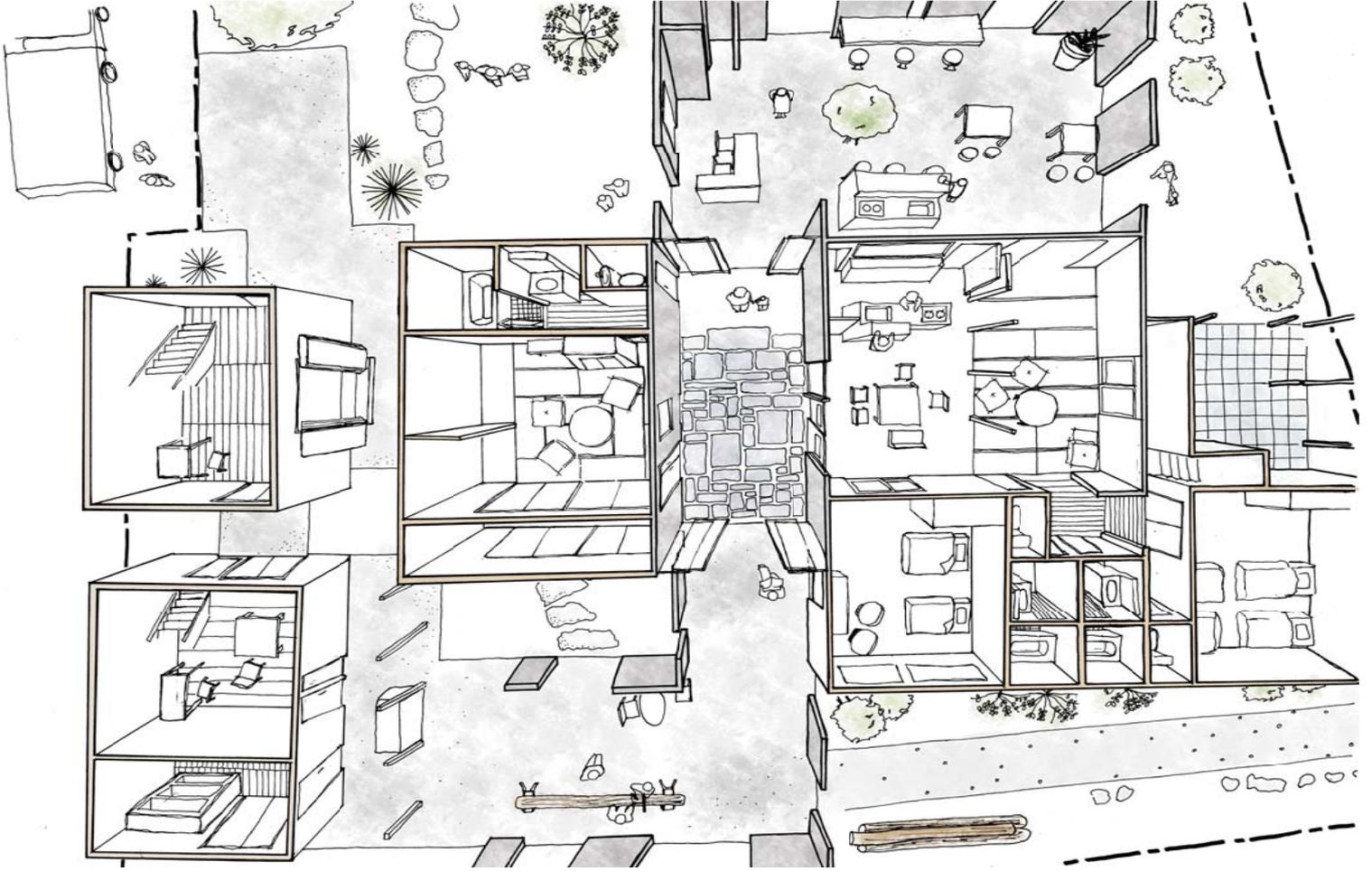


ご清聴ありがとうございました。

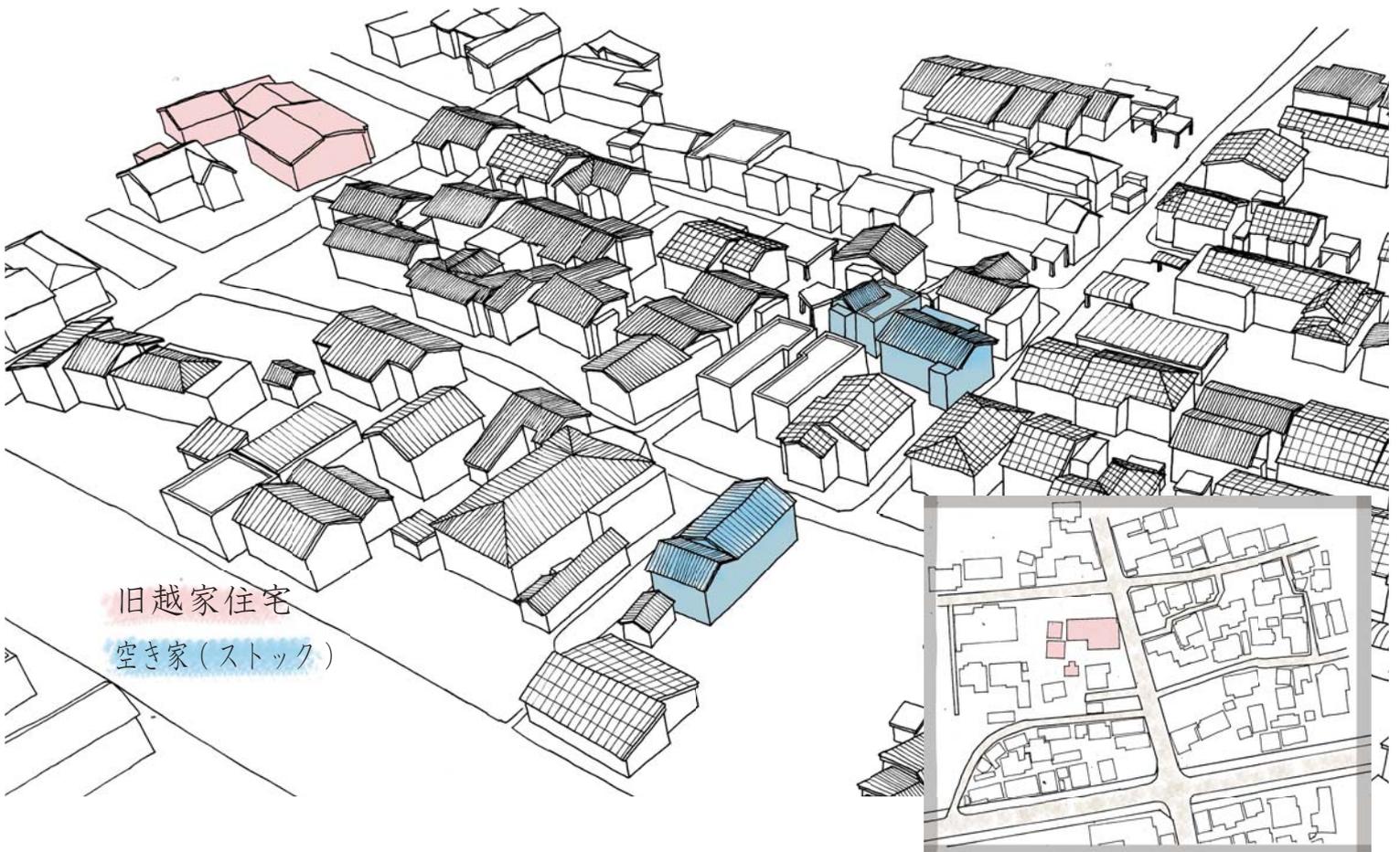


ストックと向き合う民家

信州大学・工学部・建築学科 / 齋藤 香奈



01 敷地



旧越家住宅

空き家(ストック)

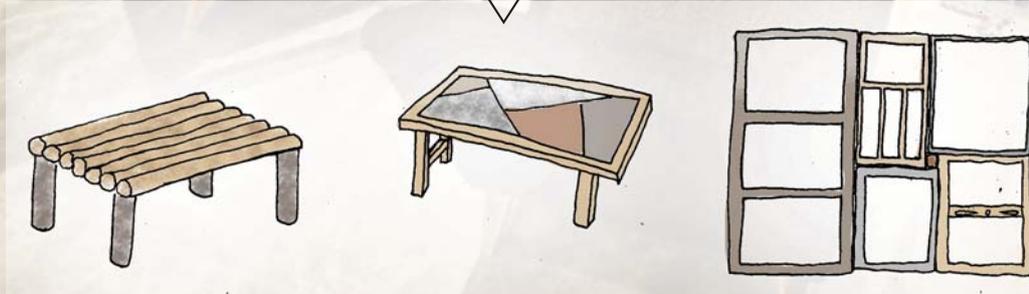
02 こんせふと・ぷろぐらむ



- ・ストックを解体
- ・材とする



- ・材の切り出し
- ・組み立て



- ・改築される
- *再生*

03 住まう人



老夫婦

・オーナー

・越家の歴史を伝承

若夫婦

・工房を運営

・材の取り扱いを教える

核家族

・須坂で子育てをする

・工房と喫茶の手伝い

04 だいがらむ

搬出

たまり場
オープンスペース

搬入

工房の動線

既存1F平面図を用いて

05 1F平面図 (ゾーニング)

地域のかふえらうんじ

居室

Reの通り

集合住宅共用部

居室

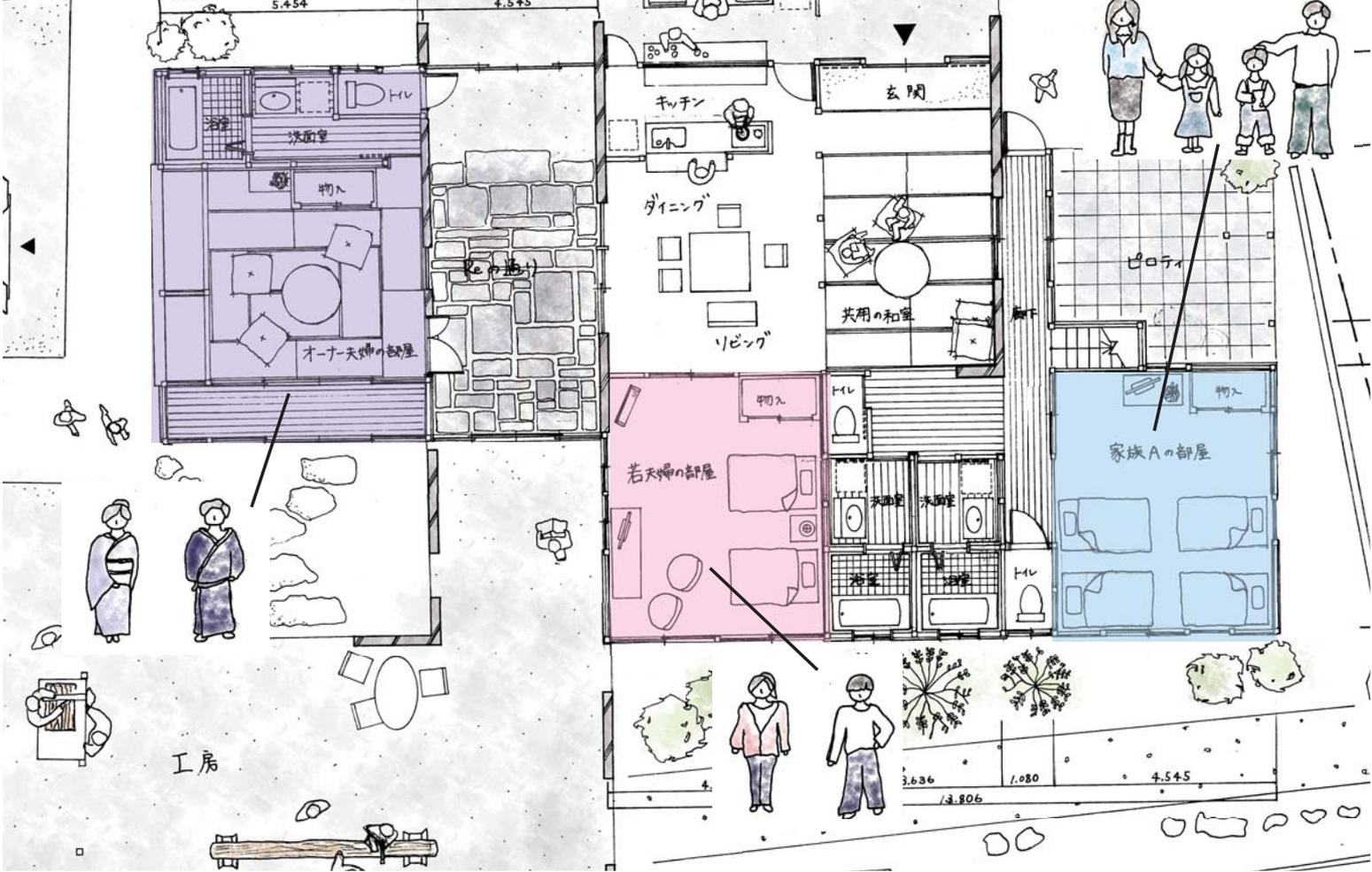
工房

RC 挿入部

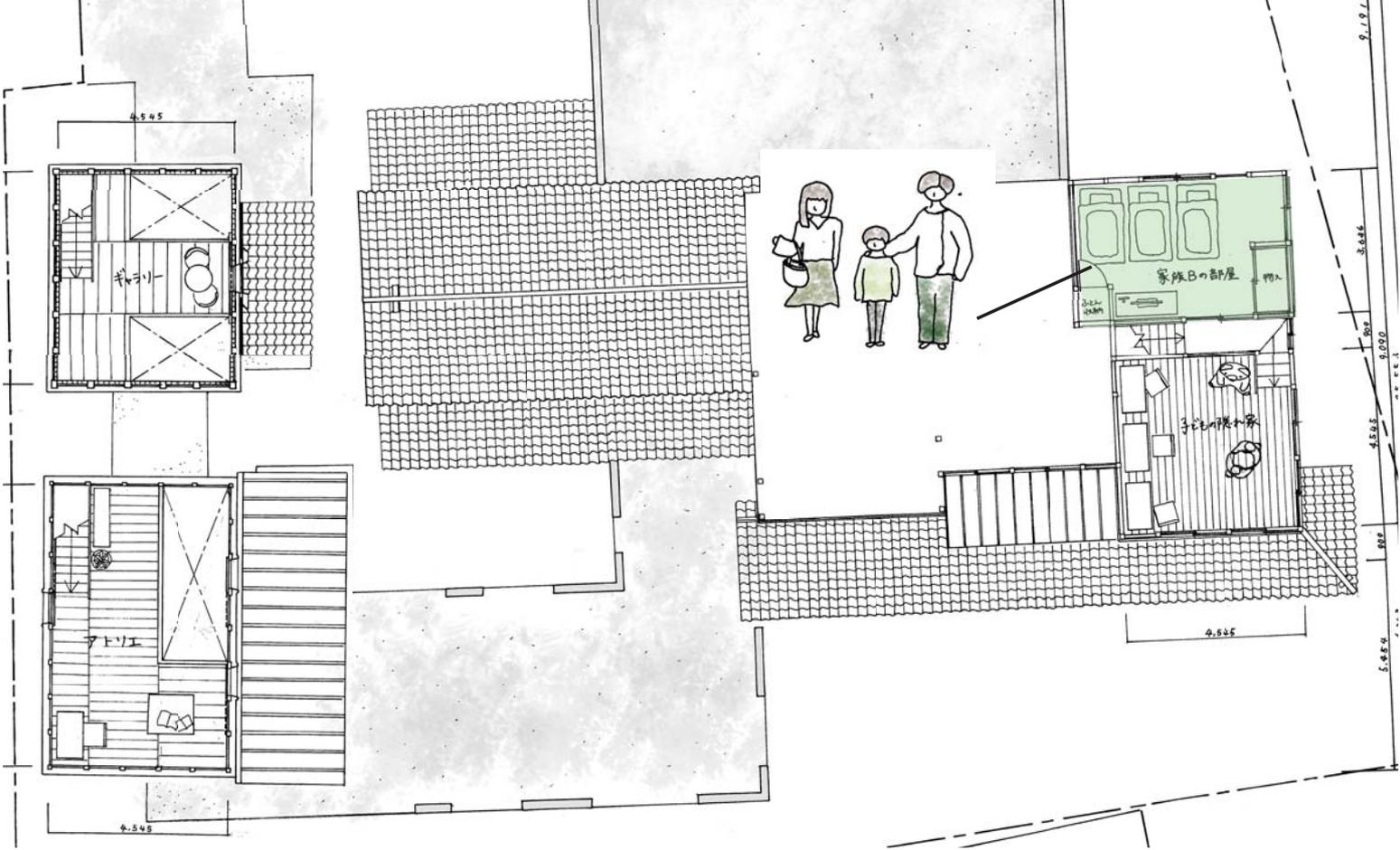
木造 = 既存

再生後1F平面図を用いて

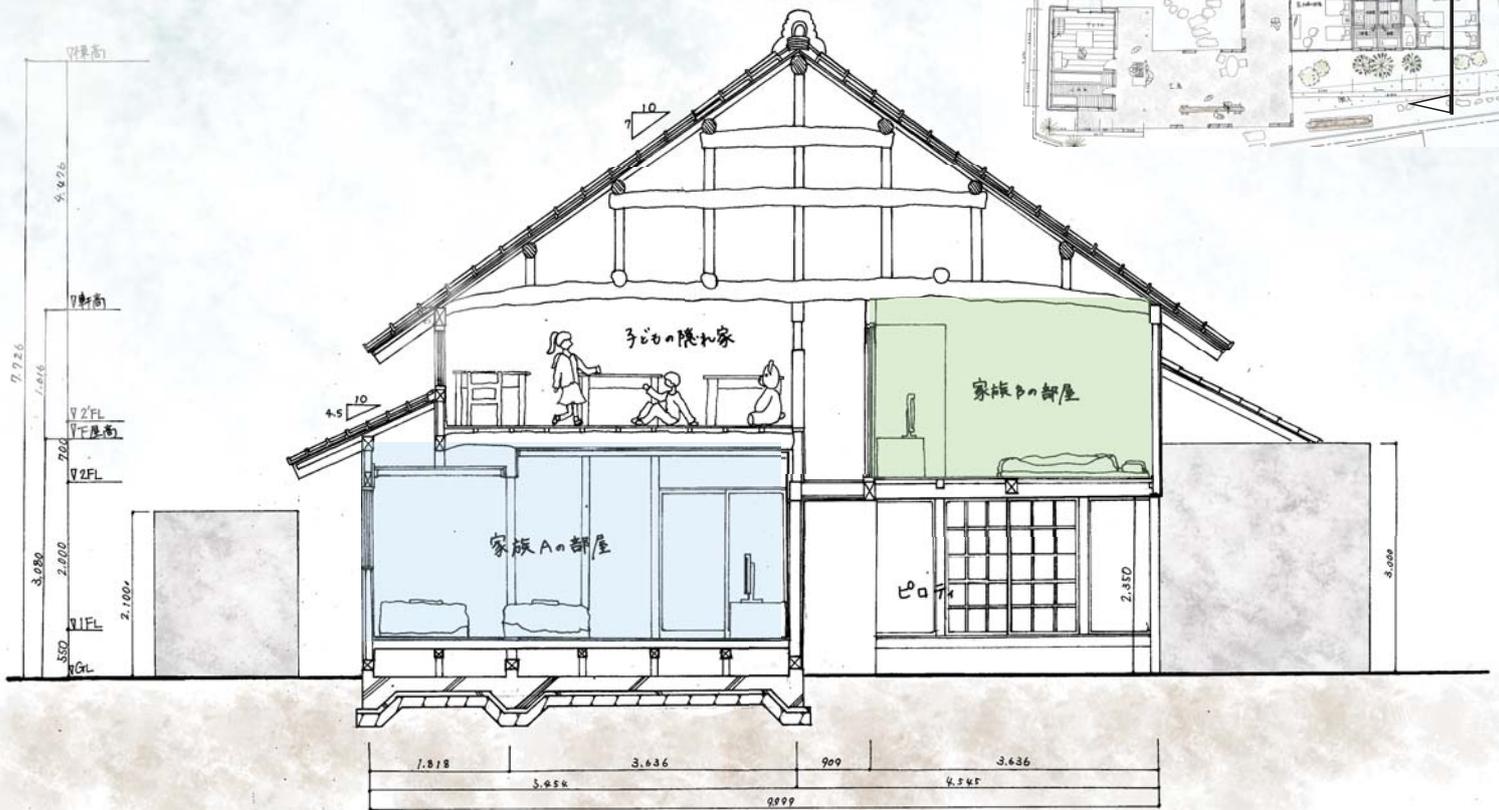
05 1 F 平面図



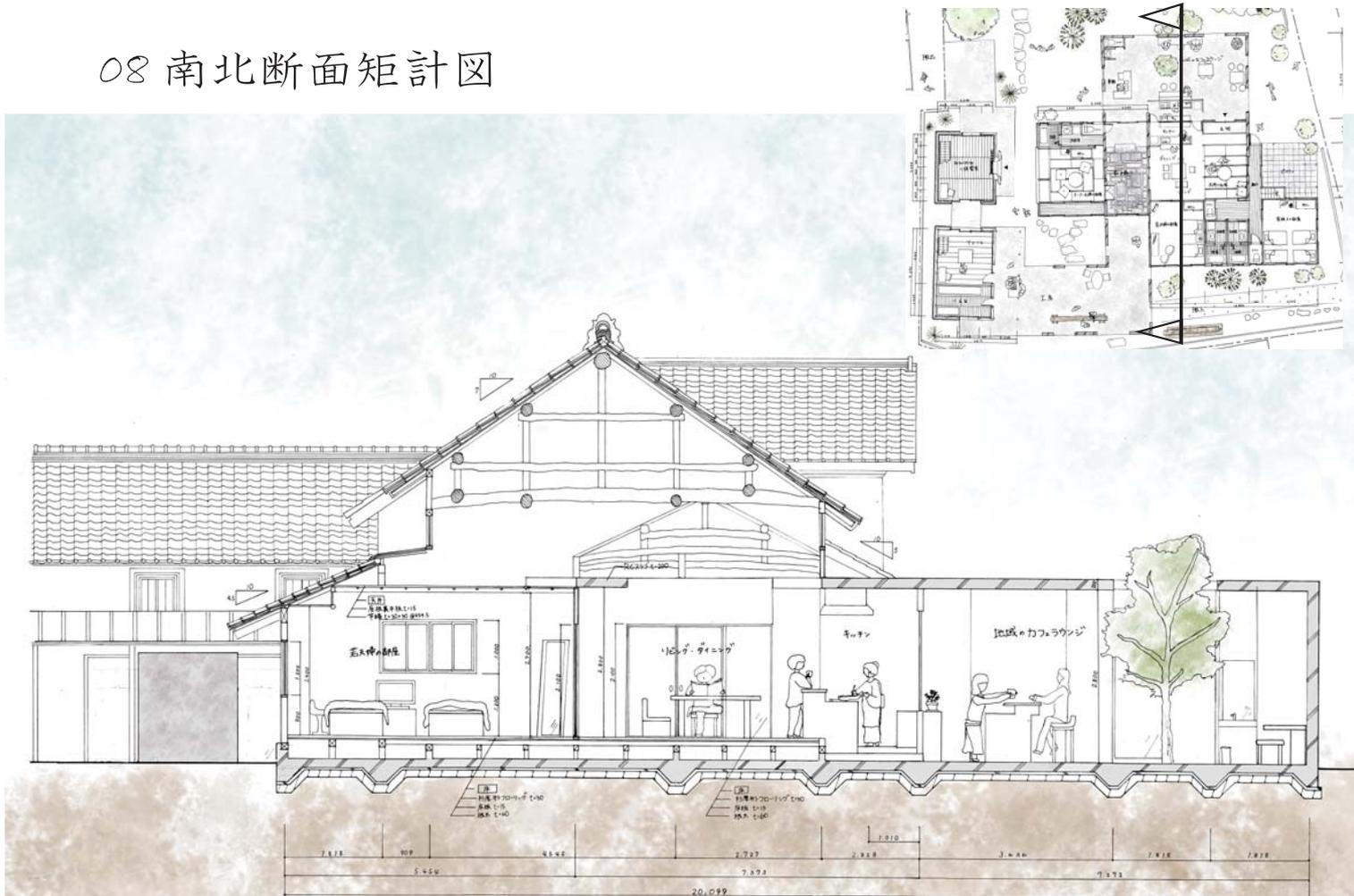
06 2 F 平面図



07 南北断面図 (集合住宅部分)



08 南北断面矩計図



09 東西断面矩計図

